

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

January 2023

年4回発行(1, 4, 7, 10月)

第101回 全国高校サッカー選手権大会千葉県大会 決勝戦

2022年11月12日(日)13:10キックオフ ~フクダ電子アリーナ~

日本体育大柏高等学校 2 (1-0,1-0) 0 船橋市立船橋高等学校

R:浅田 武士氏, AR1:小西 和幸氏, AR2:高野 祐介氏, 4th:小栗山 浩史氏 (文中敬称略)



(左から 小栗山さん、高野さん、浅田さん、(AFC 審判インストラクター)松崎康弘さん、小西さん)

Q:本日は千葉県で大きく注目される試合への対応、大変お疲れ様でした。試合を終えた感想をお願いします。

浅田：無事に終わって一安心しています。

小西：審判チームとしてアクシデントはありましたが、とりあえず試合を無事着地させられた事にホッとしています。

高野：とても良い雰囲気の中での決勝戦だったと思います。私自身は、会場の雰囲気を肌で感じつつレフェリングを終えたいと考え、試合に臨みました。試合展開は、攻守がめまぐるしく入れ替わり、本気のぶつかり合いを感じられました。また、この試合は季節外れの気温と日差して、選手達も疲労度が高く、前半から消耗が激しかった感じです。中継をご覧になった方も多くいらっしゃると思いますが、後半30分程したところで、副審の任務を遂行出来なくなったのには、心残りとなりました。

小栗山：注目度の高い試合を、素晴らしい審判員の方々とチームを組ませていただき、協力して試合を終える事が出来て良かったです。また、様々な事を学ばせて頂き、充実感で一杯です。

目次		頁
決勝審判員表彰	第101回 全国高校サッカー選手権大会千葉県大会 決勝戦	P.1~3
	JFA 第28回全日本フットサル選手権大会 千葉県大会 決勝戦	P.4~5
	JFA 第46回全日本U-12サッカー選手権千葉県大会 決勝戦	P.6~9
昇級審査合格者のお知らせ	サッカー2級、3級	P.10~12
	インストラクター3級、フットサル3級	P.12
新規取得講習会のお知らせ	サッカー4級、フットサル4級	P.13~14
昇級審査のお知らせ	サッカー、フットサル	P.14~16
地域で頑張っています 東葛地区サッカー大会(11/27 ゆうゆう公園)		P.17~18
求むサッカー審判員~審判割り当てを受けてみませんか?~、永年表彰のお知らせ		P.19
ユース審判員研修(11/23.JFA夢フィールド)		P.19~21

Q：まだまだコロナで制限も多い中、久しぶりの有観客試合となりました。いかがでしたか？また、これまでコロナの影響で一番辛かった事は？



浅田：ゴールの時などの盛り上がりは久しぶりに肌で感じる事ができました。辛い事は、試合後に仲間と食事に行けない事です。

小西：普段自分がやるカテゴリーの試合で、当試合程に観客が入る事はないので、とても緊張もしましたが、それと同時に、これだけ注目度の高い試合を任せて頂いた事に誇らしく思いつつ、感謝の気持ちもあります。コロナの影響としては、自分自身、2月と8月にコロナに感染し、回復後のコンディションを戻すまでが一番辛かったです。特に8月は暑熱順化したタイミングだったので、復帰後が辛かったです。

高野：多くの観客が入った試合で、レフェリングを行うのが久しぶりの感覚でした。両校の応援団の雰囲気も良く、バックスタンド側からの手拍子や楽器が、選手達をより一層鼓舞していた感じでした。コロナ禍の中では、サッカーをする事に制約があり、審判員も制約の中過ごさなければならないのは、かなりのストレスだと思っています。ですが、そのような中でも審判活動が出来るので、辛いと言う感覚はないですね。一番は、コロナ禍が終息して貰うのが良いのですが。

小栗山：久しぶりの有観客での試合はとても緊張しました。また、コロナの影響で一番辛かった事は、やはりサッカーが出来なかった事が一番辛かったです。

Q：浅田さんは、久しぶりの決勝主審でしたが、前回と違った事はありましたか？

浅田：対戦チームが変わって千葉県の高校サッカーのレベルが変わってきたという事。

Q：小西さんは、2年連続の決勝審判でしたが、去年と違った事はありましたか？

小西：去年はとても緊張したまま終わった感じがしました。今年も緊張はしましたが、去年よりは落ち着いて臨めました。自分はARIで後ろが日体柏のベンチだったので、かなり忙しくなると思いつつ、落ち着いて対応出来たと思います。



Q：高野さんは今回初めての決勝審判でしたが、普段の割り当てと違った事はありましたか？

高野：決勝審判の割当てを頂いた時は、気分が高まりました。その為に、しっかりと生活面やトレーニング面で準備して臨もうと思いました。試合では、普段以上に緊張と筋肉の疲労が有った気がします。副審の任務を全うする事は出来ませんが、どの様な試合でもアクシデントはあると考え、無理をするよりも勇気を持って交代できた事には、自分自身良かったと思っています。

Q：小栗山さんは、決勝審判を何度も行われていますが、今回は何か違った事はありましたか？

小栗山：今回は、副審の高野さんの負傷により、アディショナルタイムを含めて、後半残り10分、副審を務めました。大きなミスをする事なく終わられたので、良かったです。



Q：浅田さんは普段、Jリーグを担当されていますが、今後は何を目標しますか？今後の目標などは？

浅田：一試合、一試合割り当てられた試合を無事に終わらせる事、一つでも多くの試合に関わる事です。

Q：千葉県で審判する上で憧れの試合を担当して、今後は何を目標しますか？今後の目標などは？

小西：まずは1級に昇級する事が第一の目標であります。そこから当試合のような注目度の高い試合で主審を任せて頂けるような審判員になりたいと思っております。

高野：私は、審判を始めたのが16歳の時で高校1年生でした。それから21年間の審判活動で初の決勝戦の舞台に立つ事が出来ました。本当に光栄ですし、審判員になってお世話になった方々は数えきれず、そのような方々やこれからお世話になる方々にも、審判活動を通して還元できれば良いと思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。

Q：小栗山さんは2種の委員会も担当しておられますが、今回の大会を振り返ってどう感じましたか？

小栗山：今年の高校3年生の年代は、入学時に新型コロナウイルスの影響で、なかなか思うように活動が出来ない年代でした。まだまだ色々な制限がある中で、出場辞退のチームが1チームもなく、代表校が決められた事はとても良かったと思います。また、大会を運営するにあたり、千葉県の多くの審判員の方にご協力して頂きました。運営にご協力して頂いた審判員の方々、本当にありがとうございました。

Q：最後にズバリ！審判をしていなかったら今、何をしていると思いますか？

浅田：お豆腐屋さん。実家が豆腐屋なので。(笑)

小西：サッカーもちろんですが、筋トレも好きなので、サッカーの現場もしくはフィットネスジムなどでトレーナーをしていると思います。

高野：審判をしていなかったら…。ちょっと考えられないですね。仕事の関係で、10年間殆ど活動は出来ていなかったのですが、4年ほど前に活動が出来る環境に戻ってきました。戻ってくる程ですので、審判をしていないというのは考えられない位に情熱がありますね。



JFA 第28回全日本フットサル選手権大会 千葉県大会 決勝戦

2022年11月23日(水・祝)17:15キックオフ ~館山運動公園体育館~

GINGA F. C. 千葉 2 (1-3,1-1) 4 順天堂大学 GAZIL/jfc

主審:松田 卓磨氏、第2審判:中村 翔氏、第3審判:徳江 崇氏、タイムキーパー:小川 和則氏(文中敬称略)



(左から 小川さん、徳江さん、中村さん、松田さん)

Q1: 本日、決勝を迎えるまでにどのような準備をされてきましたか?

松田: フィジカル面の準備という観点で話をします。基本的に毎週末試合がある中、今回は水曜日の開催ということで、その前の土曜日1試合、日曜日2試合とこなした後、中2日で迎えた準決勝、決勝です。通常の日課ですと週末の試合を経て、月曜日は自重系の全身ストレングストレーニング、火曜日は疲れの残り具合に応じて、オフまたは低強度のトレーニングを行い、水曜日から次の週末に向けて強度を上げたワークアウトを再開します。本日は準決勝も担当しましたので、決勝は5日間で5試合目でした。従いまして、この月曜日と火曜日は、いかに今日にむけて疲れを残さないか、という過ごし方を意識しました。とはいうものの疲れをとるために2日間完全オフにした!というわけではありません。日々、様々なトレーニングスタイルから、試合日程、体調や気分に合わせて選んでいますが、今回は、月曜日にピラティスのエッセンスを取り入れた、コンディショニング重視のもの、火曜日はマッチ



プレパレーションの目的も含め、身体を良く動かしながら楽しくできる、ダンスエクササイズを行い、今日という日を迎えました。準決勝後すぐに、入念にストレッチの時間を入れたことも、決勝に向けたフィジカル面の準備として挙げるができます。これでまた、3日後の土曜日には2試合です。



中村：どのチームが決勝へあがってきてても試合展開がどうなるイメージして対応できるように臨みました。

徳江：試合が終わるまで、お酒は飲めないし、怪我も病気もできないなと腹をくくりました。準備はいつもと変わりません。競技規則を見直したり、フィットネス研修のおさらいをしながら、穏やかに過ごしました。

小川：決勝と言っても気張る事なく、いつもの試合と同様に「しっかり取り組む」事を心掛けました。



Q2：松田さんはフットサル決勝の主審は初めてだと思いますが、試合を終えたお気持ちをお聞かせください。

松田：表彰式の際、皆さんが笑顔で拍手を送ってくださったことにほっとしております。モヤモヤするような我々のゲームマネジメントだったら、このような雰囲気にはならないですからね。帰る時も気まづくなってしまう(笑)。いつもそうですが、全員とは言わずとも、勝敗に関わらず多くの方々が良かった！と感じられる試合になるよう心がけています。今日は皆さんの協力のもと、我々のことが話題にあがらない試合になったかな!?と振り返っております。

Q3：来年に向けて目標や抱負を教えてください。

松田：常に体力、精神面ともに良いコンディションを保ち、1つ1つの試合に臨むことです。そうすれば自ずと結果はついてくると信じています。また、切実な思いですが、県内のフットサルレフェリー仲間が少しでも増えるよう、皆さんに魅力を伝えていきたいですね。

中村：このようなご時世ですが、フットサルに関わる関係・選手・指導者・観客と共にフットサルを盛り上げていけると嬉しいです。

徳江：来季も引き続き、感謝の気持ちを忘れず、審判活動に携わりたいです。関東ビーチサッカー割当が来季もいただけるようなら、うれしいです。

小川：やはり、それなりの年齢になり、「あと何年、(審判を)続けられるのかな。」と思うようになりました。これからも健康に留意しつつ、これまでの経験を少しでも活かしながら、目の前の試合を一つずつ取り組むことが出来るようにしていきたいです。



JFA 第 46 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 千葉県大会

決勝戦

2022 年 11 月 27 日 11:00 キックオフ 白井市運動公園陸上競技場
柏レイソル U-12 1(3PK2)1 ジェフユナイテッド市原・千葉 U-12

主審:池田 浩康氏、副審:佐々木 大輔氏/青木 知道氏、第 4 の審判員:佐々木 健氏 (文中敬称略)



(左から佐々木 大輔さん、佐々木 健さん、池田 浩康さん、青木 知道さん)

Q: 爽やかな秋晴れの中お疲れ様でした！まずは試合の感想をお願いします。



主審の池田さん

池田：暖かかったですね～。爽やかな決勝日和でした。でも試合は熱くて、延長～PK までもつれ込み、両チームの諦めない気持ちを最後まで感じながらレフェリングしました。無事、終わられて安堵しております。

佐々木健：まずは選手・審判団共に怪我無く無事に終わられてほっとしています。

青木：U-12 選手権の千葉県代表が決定する試合審判を担当できたことに感謝し、実力が拮抗した両チームの闘志あるプレーを近くで感じる事が出来て今とても充実した気持ちでいます。

佐々木大：大きな怪我やアクシデント、適応ミスなどなく、無事に試合を終了できたことにホッとしています。今回、初めて青のカラーシャツを着させていただきました。いつもとちょっと違う雰囲気味わうことができ、テンションが上がったのを覚えています。

Q: シャツはどなたが用意してくださったんですか？

青木：松戸 4 種審判部で購入した審判服を着用しました。多くの方が審判に興味を持ってもらい、審判をやってみたいな…と思ってもらえればうれしく思います。

佐々木健：決勝の審判団が同じ審判服で対応したのは U-12 選手権大会では初かと思えます。提案、準備提供頂いた青木さんに感謝です。



副審 1 の佐々木大輔さん

Q: 決勝戦の割当はいつ頃知りましたか？

佐々木大：2 か月ほど前に 4 種山中審判部長より審判依頼の打診があり、すぐに受諾の連絡を入れさせて頂きました。

佐々木健：数か月前に山中部長から直接頂きました。ありがたいことに昨年も決勝の割当を頂戴しており、嬉しさ半分重責半分という思いでおりました。

池田：9月の終わりに山中部長からメールいただきました。「笛をやりたい！」と心の中で叫び、天命を待ちました。



副審2の青木さん

青木：2か月ほど前に山中部長より打診があり、すぐに受諾の連絡を入れさせて頂きました。割当は当日競技場にて発表があり副審2の担当を頂きました。

Q：役割を知るのは当日なんですね！この大会独自の気がしますが、当日はどのように役割発表がされますか？

佐々木大：山中4種審判委員長より、割当表が一齐に配付されて役割を知ります。どの役割になっても大丈夫なように事前準備に努めています。

青木：主審を割当てられる気持ちで常に準備します、主審でも副審でも試合前の緊張感は変わらないかもしれません。主審を割当てられたときは特に4種では笑顔を忘れないようにと意識しながら試合に臨むようにしています。

Q：U-12選手権は全国大会へ繋がる大きな大会ですね。何か思い出やU-12選手権との出会いのエピソードはありますか？

佐々木健：U-12選手権は私が上級審判をめざすきっかけとなった大会となります。当時、息子がお世話になっていた所属チームにて、審判技術も県大会にふさわしいレベルをという思いからスタートしています。U-12選手権に関わるたびに初心に帰る思いがあります。

池田：この大会の決勝の笛は5回目なのですが、ピッチへの入場が一番緊張します。FIFAアンセムが流れて台座からボールを取る瞬間、いつも「ここでボールを取り損ねて落としてしまったらどうなるんだろう？入場やり直し？」って考えて…邪念で頭が一杯になって顔がニヤけてしまうんです。普段コーチをしているペガサスJFCの仲間からは「スイカ泥棒みたい！？」とイジられますが、今日は大丈夫だったと思います。たぶん。

Q：スイカ泥棒には見えなかったですが(笑)入場シーンも撮影させていただきましたよ！

池田：(写真を見て、)おっ！大丈夫そうですね。試合前にニヤけ止めクリームをたっぷり塗って良かったです(笑)でも、すごく慎重に両手でボールに挑む姿を見ると恥ずかしいです。



Q：決勝戦の中でのエピソードがあれば教えてください。

佐々木大：主審の池田さんが、延長戦開始前のコインをキャッチできずにグラウンドに落としていました。そのおかげで、両キャプテンも我々も笑顔になり、緊張が和らぎました。もちろんわざとだと思います！！(笑)



池田：も…もちろん、わざとですよ！（汗）試合前と延長前、PK戦のゴール決め／先後攻決めの計4回、コインスをしましたが、その都度、ジェフのキャプテンの明るいリアクションは印象的でした。また試合中はチームを鼓舞し続け、惜しくも負けてしまった後には審判団に「ありがとうございます」と挨拶にも来てくれました。彼のコミュニケーション能力、キャプテンシー、そしてリスペクト精神は素晴らしいです。またフィールドで会いたいですね。

佐々木大：ジェフのGKがレイソルのCKのボールをわざわざ拾いに行ってくれて、池田主審からグリーンカードをもらったことは印象に残っています。私がU12以下の主審を担当するときは、なるべくいっぱいグリーンカードを出せるよう、選手の良い振る舞いを見つけるように努めています。本業は教員なので、選手のポジティブな言動を見つけるのは大好きです。

佐々木健：決勝に限らず、準々決勝、準決勝も非常に実力均衡した戦いが多く、千葉県全体のレベル差は良い意味で縮まっていると感じます。ワールドカップイヤーということもあり、次世代の日本代表選手がこの大会から輩出されたと期待せずにはおれません。



第4の審判員の
佐々木健さん

Q：青木さんは時計をたくさんお持ちですね！



青木：2007年に審判資格を取得して最初に購入した時計がTIMERS11、それ以降ずっと同じ時計を使用しています。8年前に中学校1年生になった次男が審判資格を取得した際、頑張れの思いを乗せ同じ時計を2個プレゼントしました。そんな息子も親父の思いとは違いサッカーの審判を続ける事も高校3年生で終了。今は息子にプレゼントした時計も私の審判バッグの中に鎮座する審判グッズの一員となっています。今は販売されていないこの時計、大切に使い続けようと思っています。親父が審判にドブプリ浸かってしまうと息子は引いてしまうようです、いつかまた一緒に審判が出来ることがあれば良いのですが…

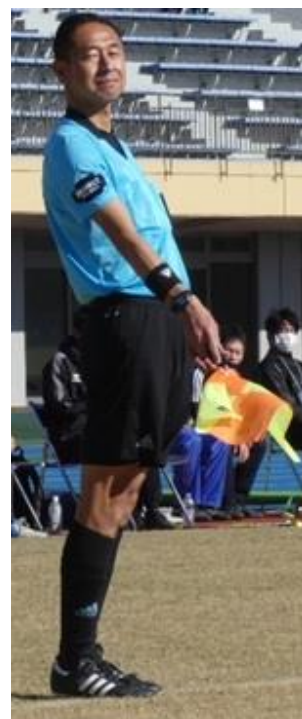
佐々木大：自宅で筋トレなどをしていると、長男が冷ややかな目で「一体何を狙っているの？」とあきれていましたが、今回2級の昇格審査に合格したことを告げると「すごいじゃん！」と素直に褒めてくれました（笑）。また、次男も少し審判への興味があるようで、スポーツ用品店で、自分から審判用の笛を購入していました。

息子たちに「審判になれ」とは言いませんが、父親が夢中になって審判に取り組む姿を見せることで、息子たちにも生涯何かしらの形でサッカーに関わって、人生を楽しんでくれるといいなと感じています。また、毎週気持ちよく送り出してくれる妻にも感謝を忘れず、平日からできる家事はしっかりがんばりたいと思います！（笑）

Q：決勝戦を担当したい審判の方へメッセージをお願いします。

池田：決勝は大変です！そして光栄に思います。そしてそして、楽しいです！初めての時は気負いしすぎて、ダブル突破する選手を追い抜いてしまいましたけど…。緊張を集中に変える術だったり、そのバランスを自身を知ることで、普段通りのレフェリングが出来ると思います。審判員の方々、それぞれ緊張／集中のバランスがあると思いますので、そこを突き詰めていくと余裕が生まれて「楽しい決勝戦」に出会えると思います。

佐々木大：誰もができる場所ではないので、その分の責任を強く感じています。また、私のようなおじさん審判でも、このような華やかな場所に立てるチャンスが訪れました。同世代の皆さん、さらに私よりも年上のレジェンド審判の方々も「まだまだ若い者には負けない」といった感じで、毎回、身が引き締まる思い



です。日々のトレーニングや、試合に向かうための心構えなど、引き続きこの場に立てるように努力したいと思います。ぜひ一緒に、この場で審判を楽しみましょう！よろしくお祈りします！



青木：4種といえども、とてもレベルの高い試合が行われます、年々レベルが高くなっていく選手達のプレーを間近で感じる事が出来る審判は是非沢山の審判員に経験してほしいと思います。全国大会に千葉県代表として送り出すチームを決定する試合、とても責任を感じながらの審判となりますが、試合が無事終わった時の充実感はまだ決勝戦を担当したい気持ちにもさせてくれます。どんどん自分をアピールして経験できる機会を造ってください。

佐々木健：日頃からの地道なサッカー競技への関りの積み重ねの先がこの舞台への架け橋だと思っております。本大会の決勝の舞台は、最高峰にふさわしい一期一会の感動を審判団にも与えてくれます。この感動に一人でも多くの決勝審判団を志す方々にも接して頂きたいと切に願います。



昇級審査合格者のお知らせ

サッカー2級昇級者お祝いコメント

松川 将久(まつかわ ゆきひさ)

この度、2級に昇級させていただきました松川 将久と申します。昇級にあたりまして、千葉県サッカー協会審判委員会の皆様及び審判仲間の皆様に感謝を申し上げます。本当に多くの方々にお力添えいただきました。

私がまず審判資格を取ったきっかけは、大学のサッカー部で帯同審判員が必要だったからです。そのときは自分から名乗り上げたものの、1年で失効し、サッカーの指導に携わるようになってから再度取得しました。高校時代に大石副委員長の姿を見ていたので、審判に抵抗感はなく、むしろ前向きに取り組むことができました。サッカー部の顧問になってから、ルールをさらに理解したいと思い、3級を取得しました。

2級を目指そうと思ったきっかけは、同じ千葉市の教員である大川さんと行木さんに声をかけていただいたからです。それがなかったら2級審判員を目指さなかったかもしれません。それくらい同じ千葉市の仲間が審判に力を入れていることが心強かったです。

今後の抱負は、もっとレフェリーとして成長し、試合を通して選手やスタッフ、観客がサッカーの魅力を最大限享受できるようになることです。昇級したとしてもまだ私は上手いわけではなく、課題はたくさんあるので一人でも多くの人が満足できるレフェリングがしたいと思っています。具体的な目標としては、また関東中学、さらには全国でも笛を吹きたいと思っています。今度ともどうぞよろしくお願ひ致します。



小林 章浩(こばやし あきひろ)

このたび、2級審判員として活動させていただくことになりました小林章浩です。まず始めに、昇級にあたり千葉県審判委員会の皆様をはじめ、所属している市川市審判委員会やご指導いただいた方々にはこの場をお借りして感謝申し上げます。

私が審判活動を始めたのは、社会人になってサッカーとの関わりが少なかったときに、以前から少し興味のあったサッカーの審判に門戸を叩きました。学生時代 GK というポジション柄、審判をやる機会があり、楽しさはあったので気にはなっていました。今となっては始めて本当に良かったと思っています。

※諸先輩方もDFやGK出身の審判員が多く、面白い共通点だなとも思っています！

普段よりお世話になっている市川市を中心に、千葉県内でも活動の場を広げ、多くの仲間と交流し、ご指導いただくなかでより高みを目指したいと気持ちが芽生え、2級昇級に向けて取り組んで参りました。

これから2級審判員として活動していただくにあたり、日々の積み重ねが大切になると思いますので、これまで同様、初心を忘れずに毎試合少しでもレベルアップできるようにどうするか考えつつ、楽しみながら活動していきたいと思っています。今後とも変わらずご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。



大附 純之介(おおつき じゅんのすけ)

レフェリーになったきっかけは、プロサッカー選手と同じ舞台に立つ夢が諦めきれなかったので、この気持ちを審判活動にぶつきたいと思い、始めました。

最近では、関東大学女子サッカーリーグを中心に関東割当や千葉県の割当をいただいています。どの試合もとても緊張感があり、気を抜くことができません。普段からそのような試合を担当できることに喜びを感じています。また審判員として日々成長できている実感があるため、とてもやりがいがあります。

この頃、できることが増えてきている分、試合中に迷いを感じながらレフェリングをしています。各試合で上手いいかないことや改善点が多々ある中、試行錯誤しながら試合をこなしていくことがとても楽しいです。この度2級昇級審査を受けようと思ったきっかけは2級審判員でしか担当することの出来ない試



合、3 級では見ることの出来ない景色を見てみたいと思ったからです。実際に 2 級になってみて、景色がとても広がった気がします。

最後に、2 級昇級審査を受けさせていただけたのは、堀川審判委員長を初めとする皆様のおかげだと思っております。感謝申し上げます。これからも審判活動、サッカーを楽しんでいきたいです。

【サッカー3級】(順不動、敬称略)

梅田 修弘、遠藤 靖之、久保 英朗、榊原 伊織、杉野 広将、高沼 響、中井 俊輔、牧野 奈穂子
小川 摩哉、北村 大、沓掛 凌雅、坂野 圭、坂本 治樹、佐々木 俊吉、須藤 楓太、中瀬 拓夢
仲田 晋梧、堀川 陸、山崎 一樹、山本 侑玖
井木 竹志、石川 大介、今井 清人、小出 和樹、越沼 和行、後藤 宏太、末次 空斗、高梨 義謙
田中 朋仁、中嶋 潤一、中原 康太、中村 健次、羽島 崇、長谷川 翼、山口 武、渡部 純也

サッカー3級昇級者よりコメント

越沼 和行(こしぬま かずゆき)

こんにちは！越沼 和行と申します。現在、フリーのスポーツ指導員をしていて、週末に自分に帯同を依頼してくださったチームの審判として活動しています。審判となったきっかけは、最初にコーチとなったクラブで帯同審判をするために必要となり資格を取り、以来複数のチームで帯同審判として活動しています。活動するにあたり、数年後には公式戦で笛を吹くには3級以上が必要になる!?という話を聞き、自分は帯同を頼まれることが多いため早めにとっておこうと思ったのが、3級昇級を目指すきっかけとなりました。今後は、選手はもちろんベンチや観客からも観ていて安心、納得して貰えるレフェリングが出来るように頑張りたいです。



中嶋 潤一(なかじま じゅんいち)

私は、松戸市の DUCSC という少年団でコーチとして活動しております。また松戸 4 種技術部で U12 松戸トレセンスタッフとして活動しております。審判活動をはじめたきっかけは、今は卒団した息子が DUCSC に入団し、頑張っている子供たちの為に何か役に立ちたいと思い、パパコーチを始めたことです。4 級を取得した当時は自信もなく、不安を抱えながら審判をしていました。先輩コーチからのアドバイスで「自信をつけたいのなら、たくさん経験すること」とお聞きし、積極的に審判活動を行ってきました。あれから数年経ちましたが、たくさんの審判活動の中で成功や失敗を繰り返し経験し、特に失敗から反省は私自身大きな学びとなりました。今回、審判員として更に成長したいという思いがあり、3 級昇級試験にチャレンジし、合格することが出来ました。今後も初心を忘れず、チームはもちろん、地域のサッカー活動に貢献できるよう努力していきたいと思っております。この場をお借りしまして、いつもご指導いただいております松戸 4 種委員会並びに DUCSC の皆様に感謝申し上げます。



末次 空斗(すえつぐ くと)

この度、3 級審判員に昇級いたしました千葉日本大学第一高等学校 2 年の末次 空斗です。はじめに、このような状況の中、3 級昇級試験を開催していただいた千葉県サッカー協会の皆様、審判をする機会を恵んでくださった顧問、そして携わった関係者の皆様へ感謝申し上げます。僕は、小さな頃からサッカーを見る事が大好きで、中学校でサッカー部に入部しました。中学校では、実際にプレーする楽しさを知ることが出来ました。僕が審判員に興味を持ったのは、部活で副審をしたことがきっかけでした。難しい判断を任されているという責任の大きさに選手以上のやりがいを感じました。そして、試合経験を積むうちに自分の視野が広がり、サッカーに対する考え方も変わったように感じます。先日、3 級を取得し本格的な審判員のスタートラインに立ちました。今後は、2 級昇級を目指して努力し、いずれは 1 級審判員になれるように頑張りたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



【インストラクター3級】(順不動、敬称略)

安藤 学、東田 欣也、中山 達良、行木 宏彰、長田 晃

インストラクター3級認定者よりコメント

長田 晃(おさだ あきら)

このたびサッカー3級審判インストラクターに認定されました浦安市の長田です。

私は、コロナ前に実技研修受講時にインストラクターの皆様にご色々と教えていただきその後の審判対応の気づきになりました。私も地域の審判員の皆様が審判活動に少しでも貢献できればと思いインストラクター資格を取得しました。

今後も審判活動を続けていきますので、違う立場で見ることにより自分のスキルアップおよび審判員の皆様が楽しく審判活動が出来るように努めていきます。試合会場でお会いした時にはよろしくお願いたします



安藤 学(あんど うがく)



こんにちは。浦安市の安藤 学と申します。息子のサッカー帯同のため審判員資格を取得して、審判員の魅力にとりつかれたスポーツ大好きな52歳です。審判員としてまだまだ未熟者ではありますが、自身の審判活動での経験を積みながら、これからはインストラクターという立場で、皆さんと一緒に、感じ、学び、成長していけたらと思っています。

そして審判員に興味を持って、頑張ってみようと思ってもらえる仲間を増やしていきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いたします。

【フットサル3級】(順不動、敬称略)

綾木 信介、田口 雄一、金指 友翔

**おめでとうございます！
今後のご活躍を期待いたします！！**



2023年度4級審判員新規取得講習会のお知らせ

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。この講習会は、インターネット環境が整っていない受講者を対象に、次のとおり対面式の講習会を開催しますので、詳しくは審判委員会 ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべて『KICKOFF』から行ってください。

なお、駐車場はありますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

●サッカー4級審判新規取得講習会●

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄り駅	募集人員	駐車場	講習会費
3月5日 (日)	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 16:00	講義	スポーツ 科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール スポーツセンター駅	100人	有り	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500
3月26日 (日)	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 16:00	講義	スポーツ 科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール スポーツセンター駅	100人	有り	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500

★2023年度の審判資格更新について★

〈3級・4級 サッカー・フットサル審判員〉

審判委員会としましては今年度の審判資格の更新方法につきまして、「JFAラーニング」を利用した資格更新を推奨致します。

「JFAラーニング」は『KICKOFF』にログインしていただき、

- 1、画面左側の「審判」をクリック。
- 2、「講習会・研修会」をクリック。→「講習会・研修会申込み」をクリック。
- 3、「更新講習会」を選択。
- 4、「検索」をクリックし「JFAラーニング」を選択して下さい。

JFAラーニングについては下記、URL参照。

<http://els.jfa.or.jp/info/referee/invitation/html/>

受講完了で審判資格の更新が出来ますが受講には期限がありますので、お早めに受講下さい。

※ 「JFAラーニング」の受講期限徒過により更新講習を受けられない場合は、2022年度末で審判資格が失効となりますのでお気を付け下さい。

2023年度 フットサル4級審判新規取得&各種講習会の お知らせ

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『KICKOFF』でご確認下さい。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄り駅	募集人数	駐車場	講習会費
3/12 (日)	9:30~10:00	10:00~ 17:00	講義	スポーツ科学センター 3.4.研修室	千葉都市 モルレル スポーツセ ンター駅	50人	有り	一般 ¥8,300 ユース ¥2,650

フットサル3、4級審判員 更新研修会

今年度は Web の JFA ラーニングでの更新しか設定がございません。申し込みの締め切りが1月末なので手続きを早めをお願いいたします。

フットサル3級審判昇級試験、フットサル2級予備試験

2023年4月か5月(日程と会場が未定の為)

※決まり次第 Web の方にアップいたします。

2023年度 第1回 フットサル2級審判員推薦審査のお知らせ

この推薦予備試験は令和5年10月(予定)に行われる(一社)関東サッカー協会(以下「関東協会」)2級昇級試験のための予備テストです。

フットサル2級審判員の昇級を希望する方は、次の方法によりチャレンジしてください。

1. 資格要件

- (1) 受験資格：2022年度の(公社)千葉県サッカー協会(以下「千葉県協会」)サッカー3級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績を有していること
 - ① フットサル3級審判員として、資格取得後1年以上で、15試合以上の審判を行っていること。
※ 15試合は、都道府県リーグ2部以上のフットサルの試合の主審あるいは第2審判として審判したものを計算する。
 - ② サッカー2級審判員
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ傷害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (3) 審判活動
 - ① フットサル2級審判員に昇級後は、(公財)日本サッカー協会や関東協会、千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) 関東協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 推薦審査

● 第1次審査；書類審査

- ① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。
- ② 昇級認定審査参加申込書による。

※ 審判委員会ホームページの推薦審査(F2)申込書を使用して提出

審判委員会サイト(<http://cfa-referee.lolipop.jp/>)へ→



● 第2次審査；第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

- ・2023年4月予定
- ・筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上
- ・体力試験
 - 1 Speed2×20 Recovery90秒 男子 3.60 女子 3.90
 - 2 CODA 男子 10.30秒 女子 11.30秒
 - 3 ALIET 男子 Level14-5/885 女子 13-6/390

・講義『2次審査合否発表後』

合格者に第3次審査の説明を実施する

● 第3次審査；2次審査合格者に対して、実技審査を実施

- ・3試合実施する。

3試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

4. 申込方法

- ① Webでの申込手続きを完了させてください。

推薦審査(F2)申込書と、審判証の写真側のコピー、審判実績15試合分以上の REFEREES

'DIARY または FUTSAL REFEREE NOTE 審判記録用紙コピーを添付し、郵送で申込みをしてください。

- ② 受験費用：2,000円

(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)

※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

2023年度 第1回 フットサル 3級審判員昇級認定審査の お知らせ

2023年度、第1回目の昇級試験を実施いたします。多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

- (1) 受験資格：2022年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー(以下「千葉県協会」)3級審判員、もしくはフットサル4級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のうちどちらかを有していること
 - ① フットサル4級審判員として主審、第2審判15試合以上の審判を行っていること。
経験対象試合は、前後半を有するフットサルの試合で、1日2試合を限度とする。
 - ② サッカー3級審判員。
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。
(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ① スポーツ傷害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
フットサル3級審判員に昇級後は、千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) 千葉県協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

● 第1次審査：書類審査

- ① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。
- ② 昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの昇級認定審査(F3)申込書を使用して提出

審判委員会サイト(<http://cfa-referee.lolipop.jp/>)へ→



● 第2次審査：第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

- ・2023年4月予定
- ・筆記試験(競技規則等に関するもの) 70点以上
- ・体力試験
 - 1 Speed 2×20(Recovery90秒)男子3.70秒女子4.00秒
 - 2 CODA 男子10.40秒女子11.40秒
 - 3 ALIET 男子14-2/780 女子13-3/300
- ・講義(合否発表後)

合格者に3級審判員として必要な説明を実施する

後日、新3級審判員講習会を実施する(実技及び講義)

4. 申込方法

- ① Webでの申込手続きを完了させてください。

昇級認定審査(F3)申込書と、審判証(現在の)顔写真側のコピー、審判実績15試合分以上の REFEREEDIARY または FUTSAL REFEREE NOTE 審判記録用紙コピーを添付し、郵送で申し込みをしてください。

- ② 受験費用：2,000円

(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)

※ 詳細等が決定次第、Webサイトに掲載致します。



今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～
2022年11月27日(日)東葛地区サッカー大会(五市対抗戦)
～我孫子市利根川ゆうゆう公園サッカー場～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回は我孫子市で頑張っている皆さまにインタビューをしました。

- | | | |
|-------------------|--------------------------|----------------|
| ①：氏名(敬称略) | ②：審判歴 | ③：審判になったきっかけは？ |
| ④：審判活動で印象に残っていること | ⑤：これだから審判は辞められない審判の魅力とは？ | |



- ①：大井田 俊彦(おおいだ としひこ)
- ②：数えてみると18年になります。よく考えれば、この18年間ほぼ毎週審判をやり続けていたのですから、正直自分でも改めて驚きです。
- ③：長男の少年団のサッカーでパパさんコーチを始めた時からです。私は、身体を動かすのが好きだったので、帯同審判も買って出てやっていました。我孫子市の審判委員会の方々に丁寧に手解きをしていただき、上手くなることの喜び、奥深さを教えていただいたのも審判に一層のめり込むきっかけになったのだと思います。
- ④：失敗した時のことの方が多いですね。具体的に残っているというよりは、小さなことの積み重なりで常に上塗りになっている感じもあります(笑)。毎試合のように、あの時のファウルを取っていれば、もしかしたら試合の流れが変わっていたのかもしれない？とか思っています。
- ⑤：会場にいるほぼほぼ全ての方が、選手は試合に、応援の人は応援に、全力を尽くしたとの満足感を感じていただけた時は本当に嬉しいです。トレーニングマッチで笛を吹く時もありますが、自分の笛で選手が公式戦さながらの真剣モードになってくる、他人にはない密かな自己満足を感じられることも醍醐味ですね。



- ① : 渡邊 雅彦(わたなべ まさひこ)
- ② : 審判資格を取得して約 23 年だと思います。
- ③ : 地域社会人リーグで選手として出場しておりましたが、チームとして審判資格が必須となり資格を取得しました。その後、子供がサッカーを始めたのがきっかけで所属チームのコーチとなり、同時期より我孫子市審判員会として審判活動を行っております。
- ④ : 2018 年に鴨川で開催された「JA 全農杯チビリンピック関東大会」で審判員として参加させて頂き大変勉強となり印象に残っております。
- ⑤ 試合後は「あの場面ではこうすれば良かった」と常に反省しかありませんが・・・試合後に負けたチームから「ありがとう」「良いジャッジだった」と声をかけていただくのが嬉しい瞬間ですし次への活力となります。



「地域で頑張っている」レフェリーを取材に行きます！

千葉県内の様々な地域で色々な大会が行われて、そこで頑張っているレフェリーを取材に行きます。例えば、4種の各ブロックが主催する大会で主管部から指定された方々、各市の審判部会から派遣された方々、地域やチームの招待試合において数名で審判を担当する方々など、また「こんな名物審判がいる！」など、紹介したいレフェリーなど情報をいただければ、総務部が取材に行きます。情報を以下までメールしてください。(大会名、日にち、時間、レフェリーの人数等)お待ちしております。

担当：総務部・長谷川 メールアドレス：cfarc.somu@gmail.com

求む！サッカー審判員

～審判割り当てを受けてみませんか？～

現在3級を取得されて審判活動をされている方で、「審判が楽しい、もっとうまくなりたい！」でも、子供が成長して活動場所をどうしよう？などとお困りの方はいらっしゃいませんか？(公社)千葉県サッカー協会審判委員会では、選手により良いゲーム環境を提供するために、派遣審判活動にご協力いただける方を探しています。

最初は自信がなくても、大丈夫！3種(中学生)の副審など、無理のない試合から始めて経験を積んでいただき、審判スキルや試合レベルをアップしてみませんか？やる気のある方には、どんどん割当をしていきます。

千葉県内では多くの試合に審判を派遣しており、派遣先では様々な審判員とコミュニケーションが取れ、今後の活動に生かれます。また、研修会や勉強会も随時行っていますので、心配する事はありません。

詳細に関しては、割当部の曾我(fs068913@yahoo.co.jp または、070-5547-5132)までご連絡ください。

是非、ご連絡お待ちしております！

割当部長 曾我

永年表彰のお知らせ

(公社)千葉県サッカー協会審判員として登録後、2023年4月1日現在で20年間並びに30年間、審判活動を続けられた方の表彰を行います。表彰式は5月の審判委員会の前段で行う予定です。参加できる方はお願いします。該当する審判員の方(自薦他薦を問いません)は、2月17日(金)までに氏名、住所、電話番号、e-mail アドレス、登録年月、審判登録番号、活動状況を下記のメールアドレスまでお送りください。(書式は問いません。メールにベタ打ちで結構です)

e-mail : cfarc.somu@gmail.com (担当 長谷川)



ユース研修会

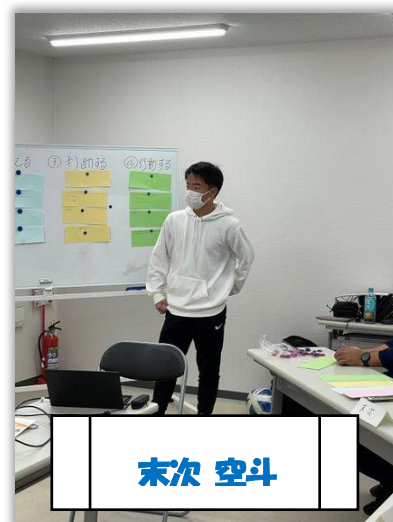


11/23「ユース研修会」が千葉県フットボールセンターで開催されました。当日は、生憎の雨のため予定していた実技講習は中止となりましたが、熱心に座学を受ける受講生の皆さんのコメントと写真をお伝えします！



末次 空斗 (すえつぐ くと)

今回は、雨天のため座学になってしまいましたが、すごく充実した講義で、特に同年代の審判員の仲間たちと、一緒にサッカーについて話せたのは、サッカーや審判をすることに対する意識が良い方向へ変わり、モチベーションが上がりました。すごく楽しくて、いい経験になりました。



黒澤 航介 (くろさわ こうすけ)

原点に戻れるようなとても良い研修会でした。正しい、説得力のある判定をするにはどうすればいいか、そのために何を考え、何を見て、どう行動し、どう判断するか！は正しい判定をするのにとっても大事なことです。その事を深く考えることが出来ました。また、審判の心得(あるべき姿)を見つめ直すことが出来る座学も開いて頂き、とても有意義な時間でした。学んだことを肝に銘じてこの先も取り組んで参ります。



若手審判員は決して多くはなく、大人の方と審判をする機会が多いです。ですが、このようなユース研修会で顔合わせて研修することで、親交も深まり、自分もまた頑張ろうと思える良い機会です。1人でも多くの若手審判員が参加してくれることを楽しみにしています。多くの議論を楽しくやりましょう！！

渡部 純也(わたなべ じゅんや)

自分の意見をアウトプットする機会はなかなかなく、同年代の審判員の仲間と意見を共有できてとても楽しかったです。一級審判員の清水勇人さんと浅田武士さんも研修会にいらして、審判員としてのノウハウをたくさん教えていただいたのでとても有意義な時間になりました。今後またこのような研修会があれば、是非参加したいです。



松井 誉啓(まつい やすひろ)

この研修に参加して、色々な人の意見を聞いて自分の中での新たな発見になりました。同世代の人達もみんな優しくお互いがいい関係だと思っています。同世代だと自分が思ったり、感じたりしたことを積極的に言えることもこの研修会の良いところだと思います。この研修会は自分にとっていい刺激となりました。また機会があれば参加したいと思います。初めて来る人も大歓迎です。待っています。



濱田 和孝(はまだ かずたか)

皆様初めまして。3級審判員でユース審判員として活動しております濱田和孝と申します。宜しくお願い致します。2021年12月に全日本U-12サッカー選手権大会に審判員として参加させて頂きました。

僕自身、ユース研修会に参加して、審判の技術がかなり上手になったと思っています。普段、審判をやっているインストラクターの方に指導していただくことはあまりありませんが、研修会では毎回教えてもらえるので必然と上手なれます。また、研修会に参加する事で全国大会など、大きな舞台も経験できる可能性につながります。なので、是非一度、ユース研修会に参加して、一緒に審判しましょう！待っています。



講師の方々を交えて記念撮影



広告主さまを募集しています

- 千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
 - 募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
 - この枠が1枠の大きさの目安です。
- 詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局(TEL 043-310-4888)にご連絡をお願いいたします。



編集後記

旧年中開催の2022年FIFAワールドカップは実に盛り上がりましたね！日本代表の活躍は世界に知れ渡り、「強豪国」として一目を置かれる結果となりましたが、振り返れば日本代表は、1998年フランス開催の初出場から現在に至り、4年に1度の開催都度、出場国となるまでに発展を遂げています。プロサッカー選手に憧れ・志す子供達が居れば、サッカーを長年好きで居続けて「生涯現役」と謳いながらシニアサッカーを嗜む大人達も居ます。日本のサッカーは変化に対応し、進化をし続けているからこそ、こうしてサッカーに関心・興味を持ち・夢見てボールを蹴る人達はこれからもより多く増え続けている事と確信しています。

サッカーに携える全ての人達のためにも、私達審判員もその変化に対応し、進化し続けていけるように頑張ってまいりましょう！！(Some)

レフェリーニュース編集員

高野 祐介

瀧上 祥太

金子 秀之

染田 洋

長谷川 鉄哉

公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会

E-mail : cfarc.somu@gmail.com



<http://cfa-referee.lolipop.jp/>